

## αオリゴ糖、C O Q 10 包接体

「痩せホルモン」  
アディポネクチンを増加

## シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・6226・1511)は、αオリゴ糖(α-シクロデキストリン)の機能性について数多くのエビデンスを積み重ねてきたが、最近では「痩せホルモン」

と呼ばれる注目されているアディポネクチンとの関係に着目し、ウエイトマネージメントや生活習慣病予防への活用を訴えている。

アディポネクチンは、脂肪細胞から分泌されるホルモンの一種。肥満や糖尿病、高血圧などの生活習慣病の罹患者においては血中のアディポネクチン値が低下することが知られているため、アディポネクチンを増やすことで生活習慣病や循環器系疾患の予防・改善が期待できるという。

アディポネクチンは血中LDLコレステロールの中でも直径25・5nm以下の「小型LDLコレステロール」の値と逆相関にあること、また、体内のミトコンドリアの活性が低下するとアディポネクチンも減少することが分かっているため、これらに対策するαオリゴ

糖がアディポネクチンの発現量を増加させ、生活習慣病の予防・改善に寄与すると思われる。

一方、ヒト臨床試験ではαオリゴ糖の小型LDL低減作用が確認されており、同社では機能性表示食品の届出を完了しているほか、C O Q 10をα-シクロデキストリンで包接した「C O Q 10包接体」を用いた試験でミトコンドリアの活性化作用を確認。

これらを併用することで小型LDLを抑制するとともにミトコンドリアを活性化させることで、アディポネクチンの増加作用が期待できる。

また、最近の研究ではαオリゴ糖がインスリンの分泌を促進する酵素・GLP-1を増加させ、食後血糖値の上昇を抑制する効果が千葉大学などの研究で明らかになり、論文が発表された。

同社では、今後もαオリゴ糖の有する機能性を追求していくと公言し、その認知拡大にも力を入れていく方針だ。